

研究者氏名：片山 麻有

調査・活動テーマ：子どもの多様性を大切にできる地域づくり

**調査・活動の目的**

公的支援やインフォーマルな支援は必要であるが実態が分からない。そのどちらにも当てはまらない子どもがいるとすれば、どのように支援しているのか不明である。そのために実態調査を行い、多様性のある子ども達が、地域の中で居場所を無くすことのないよう、今の支援では不十分な点を調べる。そして、子ども達が安心して過ごせる場所を確保し、多様な子ども達を支える人材育成につなげることを目的とする。

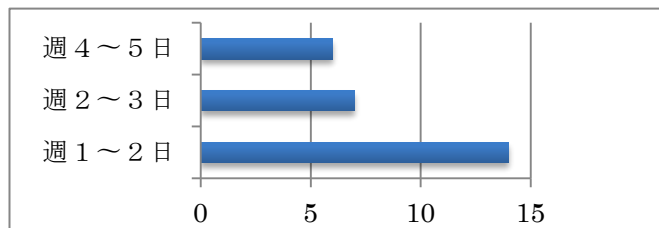
**調査や活動の取組内容および達成状況・成果内容**

<調査内容>

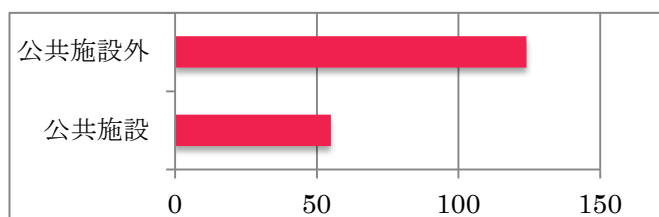
- ・小学校低学年までの子どもを持つ保護者を対象にアンケートを実施
- ・各市町の市民団体数とヒアリング

<アンケート調査にて>

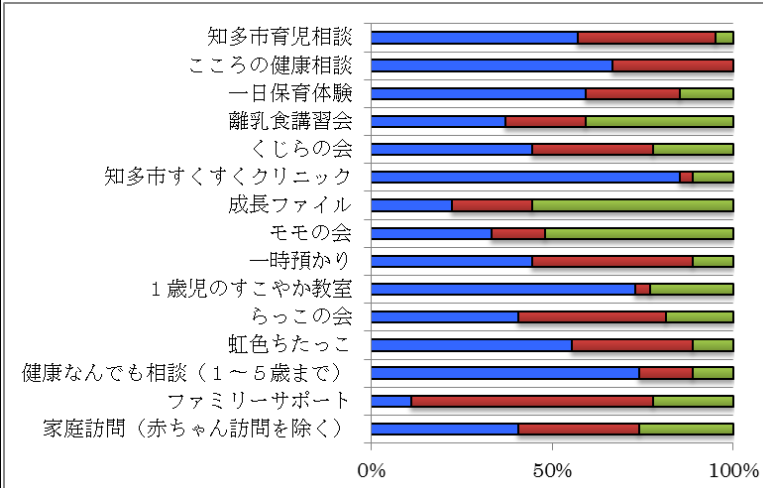
**①外出頻度と場所**



・アンケート調査は28名の方にご協力いただき、「支援の必要な子どもでも体を使った遊びができることや、自由に遊べる場所があったらいいな」「発達の遅れを気にしてなかなか公共の場所へ行けなかった」「同じ歳の子どものと公園などで、たくさん遊ばせることができ、子育てを通じて親同士も深い付き合いができています」などのコメントがあった。



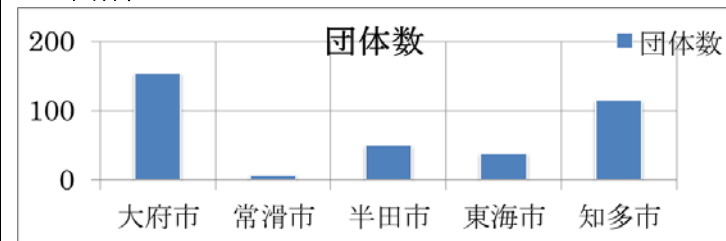
**②行政サービスの認知利用度**



- 知らない
- 知っているが利用はした事がない
- 利用した事がある

・行政サービスの認知利用度について、育児相談やこころの相談があることを知らない方や、ファミリーサポートは知ってはいるが、利用までに至らない方がいることがわかった。アンケートの記述欄には、「ファミリーサポートにも大変お世話になった」というエピソードもあり、何度も利用していることが伺えた。調査者自身も知らないサービスがあり、当事者になって初めて「気づき」「知る」支援がたくさんあることを学んだ。一方、支援があることを知らない方がいるということは、困った時にどこに相談すればいいのかわからない、意外と周知されていないといった課題も浮き彫りになった。

**③市民活動団体の調査数(子どもの健全育成に関する団体)**



・インフォーマルな支援として、各市のHPを参考に「子どもの健全育成」に関わる市民活動団体を調べ

た。更にこの中で「発達障害」の子どもに関わる団体は多くても6団体であった。その他、「絵本の読み聞かせ」や「乳幼児のサークル」など様々な団体があり、行政が行なっている「子育て支援」の他に、地域の中で保護者と子どもが安心して過ごせる場所が家庭以外にもある事がわかった。

#### ④まとめ

- ・アンケート調査の中で、行政サービスを知らない人がいることや、利用していない人がいることを知り、支援やサービスとは何なのか、改めて考える機会になった。
- ・支援を提供する側と利用する側とのズレが、いつの時代も介在する。新たなサービスが生まれ、より良くしようと一人ひとりが考えることに繋がっているのだとすれば、ズレていていいのだし、多様性があるからこそ、ズレていくものだと感じた。
- ・今ある資源を活かすことや、自分ができることを見つけ、関わろうとする気持ちが、子ども達の多様性に対応していく新たな形になる。
- ・障害のある子とない子、そのはざまにいる子ども達の中に、塀のような区別はどこにもなく、どの子どもみんな仲間であることが、子ども達を見ていてわかる。そして、初めての育児の中で、親自身も我が子の発達を客観的に見ることの難しさや葛藤をアンケート調査の中でも読み取ることができた。
- ・「子どもの多様性を大切にできる地域」というのは、場所や支援に限らず、子どもが安心して過ごせることや、大切にされていると思える気持ちを子ども自身ももてることであり、そこには障害の有無は関係なく、何の区別も必要ない。
- ・その場所や支援に関わるすべての人達の気持ちや考え方によって「子どもの多様性を大切にできる地域」が実現していくのではないかな。
- ・この研究を通じて、自分の価値観や物の見方について深く考えるきっかけとなった。

- ・疑問だった事を誰かに話すことや聞くことで、改めて社会の中で自分自身ができることは何なのか、探していきたいと思う。

#### 優れた効果・成果があがった点

- ・保護者へのアンケート調査の結果、子どもの成長発達に支援のいる方も含め協力を得る事ができた。
- ・報告会の中ですべての結果を公にすることは難しかったが、「子どもの多様性」について保護者の方の気持ちがとても大切だと、よりはっきりわかった。
- ・保護者とゆっくり話すことができた。
- ・様々な市民団体の方に話しを聞く事ができた。

#### 委嘱期間終了後の今後の展望

- ・「多様性」について、今後も多くの方と話しながら、子ども達が安心してのびのび生活できる場所を作っていきたい。
- ・今後も引き続き、多様性を大切にできるということは何なのか、多くの人と共有していきたい。